

①事業の基礎情報

事業名		道路点検・保全事業				担当部・グループ名		都市政策部 都市整備グループ			
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名		田中 秀彦			
新規・継続の別		継続事業				電話番号(内線)		52-1111(内線 275)			
総合計画 (基本計画) 体系	個別目標	(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくれます				予算 ・ 事業 上の 事業 名	款	8款 土木費			
	こんなことに取り組みます	安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えとともに、公共交通の利用も推進します。					項	2項 道路橋りょう費			
							目	1目 生活道路新設改良費			
	みんなで目指すまちづくり 指標名	暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合					事業名	1 道水路維持管理事業			
	現状値 (H25)	67	実績値 (H26)	64	実績値 (H27)	63	実績値 (H28)		目標値 (H29)	72	(単位) %
				総合戦略		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない					

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★市民が安全に道路を利用し続けるために、路面の状態や道路付属物（道路照明灯）の適切な点検とその結果に基づく修繕を徹底することが必要で、安全性の総点検を実施し、施設の機能を保全するための改修計画や長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理を計画的に進める。			
	対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,373 人
	最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆現状の道路施設について、調査点検を実施し施設の老朽化等を把握し、計画的に改修を実施し、市民が安全に道路を利用し続けるものとする。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容	
事業費総額 (千円)		34,431	17,121		・道路橋りょう修繕工事費 17,121 千円 平成 28 年度への繰越工事費 17,550 千円
財源内訳	一般財源	28,931	14,096		
	特定財源	国・県支出金	5,500	3,025	
		その他	—	—	
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆舗装修繕実施路線の実施設計の委託を行った。	H27.4～9	年度内完了
	◆舗装修繕工事（市道葭池線）の一部工事完了	H27.4～9	年度内完了
	◆各種工事（舗装補修、照明灯等の取替工事など）を行った。	随時	随時
	◆橋りょう（清吉橋）の調査設計を行い、修繕工事を実施中（繰越）。	H27.4～ H28.7（予）	計画どおり
参画・協働・ 情報共有の工夫	★地元町内会への回覧による周知		
	★路線沿線の地権者へ現場代理人による工事の挨拶。		
進捗状況	橋りょう（清吉橋）の調査設計に不測の時間を要して、改修工事が繰越事業となった。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆道路実施設計の委託の結果を受け、工事は順調に完了し、早期の舗装の完了が出来た。		
	☆橋りょう設計の委託により、職員の橋梁に対する知識が深まった。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 舗装修繕工事</u> ・詳細設計により、工事費用が当初の予算額を上回る こととなる場合がある。	・詳細設計の年度を工事実施前の予算時期まで終了させ、 確実な予算額として行く。
<u>(2) 橋りょう修繕工事</u> ・詳細設計により、工事費用が当初の予算額を上回る こととなる場合がある。	・詳細設計の年度を工事実施前の予算時期まで終了させ、 確実な予算額として行く。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆舗装修繕計画に沿った、優先順位の高い路線から舗装修繕工事を進める。	H29.3
	◆愛知県を通じて、国へ交付金申請並びに要望を進める。	H29.3
	◆道路橋の法定点検を行い、施設の健全度並びに劣化状況を把握する。	H29.3
	◆道路橋の法定点検の結果に基づき、損傷個所の修繕設計を行う。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆町内会行政連絡会議への情報提供	
	☆地元町内会への回覧や工事の説明	

特記事項	道路や橋りょうの老朽化は待ったなしであり、国土交通省が進める施策に沿って適切に対処していく。
------	--